

平成28年度 関信越高等学校ゴルフ選手権秋季大会 関東冬季大会予選

- 主催 関東高等学校ゴルフ連盟
- 期日 2016年10月24日(月)
- 場所 紫雲ゴルフ倶楽部 飯豊コース

競技規則

競技の条件

- 1 ゴルフ規則
日本ゴルフ協会ゴルフ規則およびこの競技のローカルルールを適用する。
- 2 競技委員会の裁定
競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。
- 3 使用球の規格
競技者の使用球は、R&A発行の最新公認球リストに記載されているものでなければならない。
この条件の違反の罰は、競技失格とする。
- 4 ドライビングクラブ
競技者がラウンド中に持ち運ぶドライバーは、R&Aルールズ・リミテッドの発行する最新の適合ドライバーヘッドリストに名前が記載されているクラブヘッド(モデルやロフトによって識別される)を有していなければならない。
- 5 競技の終了
本選手権競技は、競技委員長の成績発表をもって終了とする。
- 6 ホールとホールの間での練習禁止
競技者は、プレーを終了したばかりのホールのグリーン上及びその近くでは、いかなる練習ストロークも行ってはならない。
この条件の違反の罰は、次のホールに2打罰。最終ホールではそのホールに2打罰。
- 7 プレーの一時中止と再開
 - (1) 通常のプレーの一時中止(雷などの危険を伴わない気象状況)については、ゴルフ規則6-8b, cに従って処置をすること。
 - (2) 危険を伴う気象状況(雷など)のため委員会の決定によりプレーが一時中断となった場合で、同じ組の競技者全員がホールとホールの間にいた時は、各競技者は委員会よりプレーの再開の指示がでるまでプレーを再開してはならない。1ホールのプレーの途中であった時は、各競技者はすぐにプレーを中断しなければならず、その後委員会よりプレーの再開の指示がでるまでプレーを再開してはならない。
この条件の違反の罰は、競技失格(ゴルフ規則6-8b注)。
 - (3) プレーの一時中断と再開の合図について
通常のプレーの中断、危険を伴う気象状況のための即時のプレーの中断はいずれの場合もサイレン及び放送で知らせる。
プレーの再開は競技委員の指示による。
- 8 移動
競技者は正規のラウンド中、常に歩いてラウンドしなければならない。この競技の条件の違反の罰は、違反があった各ホールに対し2打。ただし1ラウンドにつき最高4打までとする。ホールとホールの間で違反があったときは、罰は次のホールに適用する。移動用の機器でその使用を認められていないものを使用した場合、違反を発見次第、すぐに使用を止めなければならない。使用をすぐに止めなかったときは、その競技者は競技失格となる。
- 9 キャディー
正規のラウンド中、競技者のキャディー使用を禁止する。この条件の違反の罰は、違反があった各ホールに対し2打。ただし、1ラウンドにつき最高4打までとする。ホールとホールの間での違反については、罰は次のホールに適用となる。この競技の条件に違反してキャディーを使用していた競技者は、違反を発見次第、その正規のラウンドの残りホールでは、この条件に従うようにしなければならない。それができなかった場合、その競技者は競技失格となる。
- 10 競技の短縮
委員会は、コースの状態が適正なるプレー不可能と判断したときは、競技規定に定めてあるホール数を短縮することができる。

ローカルルール

- 1 アウトオブバウンズの境界は、白杭をもって標示する。
- 2 修理地は青杭を立て、白線をもってその限界を標示する。
- 3 コース内の池はすべてラテラル・ウォーター・ハザードとし、赤杭及び赤線をもってその限界を標示する。
- 4 スルーザグリーン内に設置された構築物(亭舎・標示杭・球止め金網・キャディー避難の金網・マンホール・砂箱・腰掛け・植木の支柱・切り株・排水溝・カート道路・ヤード標示の白紙等)は動かすことのできない障害物とする。
- 5 樹木の巻物施設(巻き網など)はコースと不可分の部分とする。
- 6 電磁誘導カート用の2本の人工の表面を持つ軌道は、全幅を持ってカート道路とみなす。球がこのカート道路の上にとまっているか、スタンスがカート道路にかかる場合、競技者はゴルフ規則24-2bを適用しなければならない。この違反の罰は2打とする。
- 7 スルーザグリーンで、自己の球がその勢いで自ら地面に作った穴(ピッチマーク)に食い込んでいる時は、罰なしに球を拾い上げ、球のあった箇所にてできるだけ近く、かつホールに近づかない地点にドロップすることができる。(拾い上げた球は拭くことができる。)

注意事項

- 1 ティーは青マークを使用すること。
- 2 競技の条件またはローカルルールに追加、または、変更のあるときは、クラブハウス内あるいはスタートに掲示して告知する。
- 3 スタート前の練習は主催者の指示に従うこと。打放し練習場においては備え付けの球を使用し、1人で1コインまでとする。
- 4 プレーの進行に留意し、先行組との間隔を不当にあけないように注意すること。
- 5 9ホール終了後、プレーの遅延にならない限りクラブハウスに立ち入ることができる。
- 6 スタート時刻10分前には、必ずティグラウンド周辺に待機すること。
- 7 スコアカードには同伴競技者全員のスコアを記入すること。
- 8 プレーオフの準備等のため、ラウンド途中で競技委員が、各選手にスコアを尋ねる場合がある。

義務事項

- 1 指定練習は原則全員が参加すること。
- 2 ルールブック(JGA2016年度版)・本競技規則・目土袋及びスコップは、競技開始から終了まで必ず持参のこと。
※ルールブック・目土袋等を持参しない場合、大会参加を認めない場合がある。
- 3 服装は、日本高等学校ゴルフ連盟ユニフォーム規定に準じる。
- 4 高校生として、スポーツマンとして好ましくからぬ言動を厳に慎むこと。
- 5 プレー中の私語は特に慎むこと。
- 6 茶髪・長髪・パーマメント等高校生の品位を疑うようなヘアースタイルでの試合参加は、厳に慎むこと。
- 7 ネックレス・ピアス等の装身具を身につけての参加を禁ずる。
- 8 携帯電話・距離計測器等の電子機器はラウンド中の携帯を禁止する。これに違反した場合は、アドバイスを受けた可能性があると見なし、ペナルティを科す場合もある。

競技委員長